

日本の“FUKUSHI”を 世界最高の“welfare”に



Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

アナタとワタシのフクシのアシタ



FACE to
FUKUSHI

一般社団法人 FACE to FUKUSHI (フェイス トゥー フクシ)

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第1ビル6階103号室

☎ 06-4799-0108

FAX 06-4799-0107

✉ office@f2f.or.jp

💻 <http://www.f2f.or.jp> 

✉ メルマガ読者募集中!

<http://f2f.or.jp/member/>



←←←
こちらからも
アクセス可!

2014年度 活動報告書

悩みを抱えながらも誇りをもってはたらける、それが福祉の仕事。

「ここに、やりがいのある仕事がある。」



「福祉の高い専門性があるから、新しいことをクリエイトできる。」

働き手や担い手がそこまで多くなかった福祉業界の転換点が2003年※。NPOや民間が参入できるようになり、当時若手と言われた若くした方も福祉サービスを始めました。以来、全国のおもシロイ取り組みとの出会いもあり、大学生など若者に福祉ではたらく魅力を伝える「入口支援」に今、真剣に取り組む必要性を感じています。
※2003年に支援費制度の導入による、措置制度から契約方式への変換

共同代表 河内 崇典

福祉の仕事は、自分の一挙手一投足で、もしかしたらその人の人生や生命を握るぐらい専門性の高い仕事。やりがいを感じつつも、自分のやっていることが社会にどう影響を与えているか、見通しが立てられてずに辞めていくスタッフがいる。地域に必要なサービスを生み続ける、福祉の仕事の可能性を学生にもスタッフにも発信したいと考えています。

共同代表 大原 裕介

だから「福祉ではたらく魅力」を伝えるチャレンジを本格的に始めました。

福祉従事者は増えているが、早期退職者が多いという現実。
この課題を解決するために、福祉の仕事と人材のミスマッチ解消に向け、学生に対する情報発信を始めました。

2014年度活動のハイライト

全国ほとんどの地域でフォーラムを開催
私たちの活動の原点である若手福祉従事者のネットワークづくり。着実に実績を積み重ねています。

詳しくは P.3～

学生・若手向けの研修視察ツアーを開催
先進的な取り組みを実践している福祉事業所を訪れる、出稽古プログラム。今年度は集団でのツアーを実施。

詳しくは P.5～

初めて福祉の就職フェアを開催
日本の「最先端」の福祉とは？をテーマに開催した就職フェア。1ヶ月でのべ800名に来場いただきました。

詳しくは P.7～

全国若手福祉従事者ネットワークは、2014年、FACE to FUKUSHIとして生まれ変わりました。

若手福祉従事者へのアンケート調査から始まった私たちの活動は、全国各地での若手間のネットワーク作りを中心としてきました。2014年は法人名を新たにし、福祉業界の「担い手不足」に本格的に取り組んでいます。

2009年 共同代表が出会い、若手福祉従事者のつながりを作る必要性を痛感

- ・創業メンバーがアメニティフォーラムⅢに登壇「若すぎるから全く新しい実践報告」
- ・「若手福祉従事者の現状と展望」アンケート調査を実施
- ・全国若手福祉従事者ネットワークを設立(2012年に法人化)

2011年 現在も継続中の2つの活動を開始

- ・若手福祉従事者をつなぐ「ネットワークフォーラム」
- ・全国の先進的事業所での研修合宿「出稽古プログラム」

あらためまして
こんにちは!



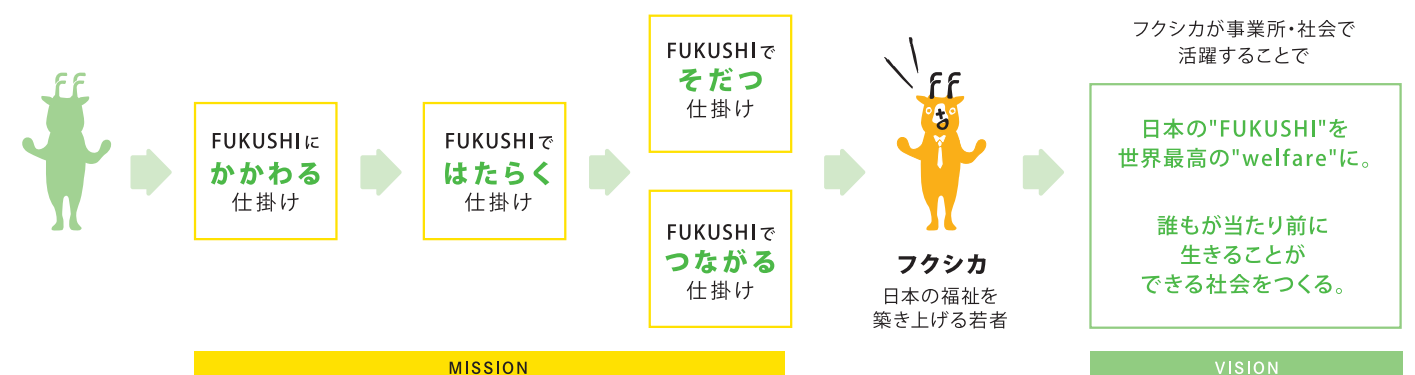
あなたとワタシのフクシのアシタ
FACE to FUKUSHI

ビジョン
VISION

日本の「FUKUSHI」を、世界最高の「welfare」に。
誰もが当たり前で生きることができる社会をつくる。

ミッション
MISSION

フクシカ(日本の福祉を築き上げる若者)を生み出す
4つの仕掛けをつくる



「FUKUSHI」
日本の福祉を築き上げる若者を応援するため
福祉人材の発掘・採用・育成に取り組んでいきます。

1. 全国若手福祉従事者ネットワークフォーラムの開催

全国8ヶ所、約900人の若手福祉従事者が参加。

2011年度に佐賀で初めて開催して以来、毎年多くの若手福祉従事者が参加するフォーラム。ゲストの話聞いて、自分の仕事に刺激を受ける時間のほか、悩みや想いを語り合える参加者間の交流時間を必ず用意しています。

開催目的

若手福祉従事者向けのアンケート調査からは、マネジメントについて考えたり学んだりする機会がないまま「ユニットリーダー」などを任せられ、不安を抱えながら業務に当たっている姿が多く見られました。一方、それでもこの仕事を続けたいという意欲的な声も聞かれました。私たちはこうした想いに応えるべく、切磋琢磨し合える「仲間」とつながる機会をつくること、また各地でフォーラムを開催し続けるための支援や、要望に応じ、新しくフォーラムを開催したい団体に対し、企画・運営の支援も行っています。

2014年度開催実績



TOPICS

- ・北海道、東北、北陸、東海、関西、四国、九州、沖縄と全国ほとんどの地域でフォーラムを開催することができました(残る関東、中国は次年度に開催予定)。
- ・各地域でフォーラムの事務局を担ってくださる団体や個人の方とのネットワークが広がり、フォーラムを継続開催する素地が着実に固まりつつあります。
- ・各地域の課題、事務局団体の問題意識などを反映し、テーマに多様性が見られるようになってきました。

各地での活動紹介

北海道

第5回 道北圏域若手福祉従事者ネットワーク研修会
『僕らの仕事には未来がある』

FACE to FUKUSHI発足前から続くフォーラム。児童・高齢者・障がい者各分野の従事者が登壇し、本音を共有。

主催:道北圏域若手福祉従事者ネットワーク



宮城

おいもわかきも
みんなでかんがえよう

就労支援、障がい児支援、地域移行と、先進的な取り組みや視点を持つ従事者が登壇。「福祉」のイメージ革新に挑戦。

事務局名:一般社団法人 宮城県手をつなぐ育成会



大阪

大阪FUKUSHI祭り
～フクシサイコウ!!
これからのFUKUSHIを、君とつくる～

社会課題の解決に取り組む起業家の方々のトークセッションをまじえ、「これからのFUKUSHI」を考える機会を提供。

事務局名:一般社団法人FACE to FUKUSHI



九州

九州ネットワークフォーラム2014
～これからの福祉を担うみんなのフォーラム～

北欧福祉の現状、地域拠点施設、相談支援、障がい者アート、福祉従事者のキャリア設計など多彩な視点を提供。

事務局名:九州若手福祉従事者ネットワーク事務局
NPO法人 ライフサポートはる



秋田

秋田フォーラムvol.2
～秋田の福祉未来予想図～

高齢者介護を取り巻く現状を皮切りに、日本の未来を予測。秋田の抱える福祉課題について中長期視点で考える契機に。

事務局名: FIFA ☆ Fukushi Innovation
From Akita ☆



石川

社会を変える”が仕事になる
金沢×大阪 社会起業家フォーラム

若者が起業し社会を変える一員となるよう「社会起業家」という生き方を紹介。大阪×石川の社会起業家の事例も共有。

事務局名:金沢学生のまち市民交流館運営会議



香川

しこく絆ネットワークフォーラム

地域の方に介護福祉や福祉の仕事に興味を持ってもらう目的で、事業所と協働し、介護の現場とリアリティを映像化して上映。

事務局名:特定非営利活動法人あいあい



沖縄

ソーシャルビジネス合同説明会

社会課題の解決をビジネスにする企業・団体を招き、将来の担い手である大学生に福祉の仕事の魅力を伝えた番外編。

事務局名:株式会社ルーツ



先進的な事業所で学ぶ 「福祉」の新しい視点。

若手～中堅の福祉人材が、全国の事業所を訪れて先進的な取り組みを学ぶ出稽古プログラム。日本財団主催事業として2008年度から開催し、のべ130名以上の研修生を輩出しています(2011年度、2013年度に引き続き、2014年度もFACE to FUKUSHIにて実施)。

開催目的

「出稽古プログラム」は、全国の先進的な取り組みをしている事業所をまわる視察研修です。新しい福祉サービスを創り、支える人材の育成を目的としています(参加費は無料、旅費は一部補助)。北海道から沖縄まで全国から研修生が参加し、その半数は20代。各法人からは若手研修の一環として位置付けられ、日々の指導ではまかないきれない、「福祉」をとらえ直す機会として活用されています。個別の研修プログラムの他、集団でのツアー型の研修プログラムの企画・提供も行っています。

2014年度開催実績

社会人向け

● 集団コース

北海道

2015年3月9日(月)～11日(水)
訪問先 ・社会福祉法人ゆうゆう
参加者 7名

大阪

2015年3月3日(火)～5日(木)
訪問先 ・NPO法人み・らいず
・NPO法人サンフェイス
・NPO法人ノーベル
・社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会
参加者 7名

愛知

2015年2月17日(火)～19日(木)
訪問先 ・NPO法人楽笑
・社会福祉法人むそう
・社会福祉法人名古屋ライトハウス
参加者 6名

● 個別コース

2015年1月～3月の間で研修先を選択し、3～7日間実習

訪問先 ・NPO法人このゆびとーまれ
・社会福祉法人シンフォニー
・社会福祉法人はるにれの里

参加者 3名

学生向け

FUKUSHI就活ツアー

2015年2月25日(水)～27日(金)
訪問先 ・NPO法人み・らいず
・NPO法人Co.to.hana
・NPO法人サンフェイス
・NPO法人ノーベル
・NPO法人スマイルスタイル
・社会福祉法人つながり
参加者 16名

各地での活動紹介

社会人向け

● 集団コース

スケジュールイメージ

時間	1日目	2日目	3日目
9:00		宿泊先出発	宿泊先出発
10:00		見学先②	見学先④
11:00			
12:00			
13:00	現地集合	見学先③	3日間の振り返り
14:00			
15:00	見学先①		現地解散
16:00			
17:00		振り返り	
18:00	1日目の振り返り		
19:00	懇親会		
20:00	宿泊先へ	懇親会	
21:00		宿泊先へ	

北海道

「地方の資源を活用した取り組み」

資源の限られた地域で、地域資源・人材を活かした共生型の地域福祉・地域づくりの取り組みを学ぶ目的で実施しました。



人口減少・少子高齢化など地域が直面する課題に対し、互いが支え・支えられる「まちづくり」をめざす、ゆうゆうの取り組みを見学。コミュニティ農園、地域福祉ターミナル、共生型地域オープンサロンなど施設・事業所・サービスの垣根を超えた複合的な活動を紹介。

愛知

「地域で働く、を支える取り組み」

就労支援と地域生活の両立を支える取り組みや、地域資源を活かした商品開発など、地域で働き、暮らすことを支える取り組みを学ぶ目的で実施しました。



楽笑では干物やパンの製造・販売、むそうでは飲食店や雑貨店、養鶏場の運営、名古屋ライトハウスでは工場運営など、障がいがある方の就労を支援する取り組みを見学。全団体とも、働き続けられる基盤を整えるため、働く以前の「生活まで含めたサポート」を紹介。

大阪

「支援の多様な広がりを学ぶ」

複雑化・高度化する福祉課題に対して、福祉×地域づくり、福祉×デザイン、制度外の支援等の様々な支援の取り組みを知り、新たな支援のヒントを学ぶ目的で実施しました。



み・らいずでは引きこもり・不登校の子どもや生活困窮者への支援、サンフェイスでは福祉作業所の技術を活かした商品開発、ノーベルでは訪問型病児保育など多種多様な事業の目的と実践を見学。従来の制度や領域を超えた支援の形を紹介。

● 個別コース

「無いものは創る」 地域課題を包括的に解決する 取り組みを学ぶ。

2014年度は3事業所に研修生を受け入れて頂きました。児童・障がい者、高齢者が1つ屋根の下で活動する富山型デイサービスを運営する、このゆびとーまれ(富山)。就労訓練や短期宿泊など、まちで働く・まちで暮らす両面をサポートする、シンフォニー(大分)。知的障がいや自閉症の方が地域で暮らしていけるよう多角的に移行支援を行う、はるにれの里(北海道)。

学生向け

これからの“FUKUSHI”を見て・知って・考える、就活ツアー

全国各地から「福祉ではたらく」ことに興味・関心のある大学生を募り、福祉の最前線走る団体を訪れる、宿泊型就活ツアー。経営者、若手職員、利用者から話を聞き、障がい児・者支援、保育・若者支援、就労支援など、福祉の仕事は分野が多岐にわたること、支援・サービスの形がさまざまであることを知る機会を提供。2014年度は第1回目として大阪で開催。



TOPICS

- ・地方からの参加者が多数です。交通費等の問題で他地域の取り組みにふれる機会を得にくい団体が必要性を感じています。
- ・研修生が単独で事業所を訪れる個別コースのほか、複数名で参加する集団コースを併設しました。参加者同士、研修先との交流機会を設け、ネットワークや学びが深まるプログラムの提供に努めています。
- ・福祉分野で活躍する人材の早期発掘をめざし、学生に先進的な取り組みを紹介する就活ツアーを新設しました。

1ヶ月間でのべ800名が来場した 新しい福祉の就職フェア。

「"最先端"の福祉とは？」をテーマに、全国でも先進的な福祉事業を営む5団体と共に開催した就職フェア「FUKUSHI ビッグバン!」。若者に向け、福祉の仕事の魅力を楽しくユニークに伝える取り組みがメディアの注目も集めました。

開催目的

きつい・きたくない・きけんの"3K"など、福祉の仕事への先入観を取り払うべく行った就職フェア。多様化・複雑化する社会課題に対し、既成概念を打ち破る新しい福祉に取り組む団体の魅力を、宇宙空間になぞらえた展示や、カジュアルな会社説明会形式で発信。

2014年度開催実績

FUKUSHIビッグバン!

～あなたの知らない新世界! 日本“最先端”の福祉就職フェア～

時 期：2014年6月20日(金)から7月26日(土)までの約1ヶ月間

会 場：ハローライフ(大阪府大阪市)

参加団体：社会福祉法人ゆうゆう(北海道)、NPO法人みらいず(大阪)、
株式会社ミライロ(大阪)、NPO法人しゃらく(兵庫)、
NPO法人ワークスみらい高知(高知)

実 績：来館者数合計809名、求人申込40名(各社5名～14名)、採用3名(みらいず1名、ゆうゆう2名)
イベント配信のUstream視聴者数合計929名(オンタイム視聴404人、アーカイブ視聴525名)



「FUKUSHI ビッグバン」チラシ

期間中、常時行った取り組み

インターネットでの求人情報発信

前述5団体に加え、複数団体が求人記事を掲載

NPO法人楽笑(愛知)
NPO法人サンフェイス(大阪)
社会福祉法人つながり(大阪)
ほか

・求人のページビュー数(1社あたり)
1,334～2,919



(ハローライフ <http://hellolive.jp/>)
プロのライター、カメラマンが事業所に向向いて取材し、福祉ではたらく魅力や各団体のサービスの魅力を発信。

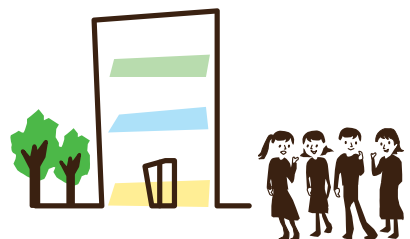
1ヶ月間の常設展示&就職相談スペース

1階は本棚のあるカフェ空間。
参加団体の推薦図書が壁面に
並び、福祉にまつわるお菓子を
提供。

2階では福祉分野の求人情報の
閲覧や、就職相談も可能。

3階は参加団体の展示スペース。
謎解きゲームも用意されており、
「福祉を身近に感じられた」との声も。

・来館者数(合計)
809名



3階



GALLERY & GAME
ギャラリー&ゲーム

2階



WORK SUPPORT BOOTH
ワークサポートブース

1階



BOOK&CAFE
ブックカフェ

期間中に実施したイベント紹介

FUKUSHI 就職リレートーク

2014年6月27日(金)、28日(土)

参加者数:61名/UST視聴者数合計:367人



初日は「これからのFUKUSHI」や「社会をつくる仕事」などをテーマにしたトークセッション。2日目は各団体の代表が、フランクに熱く1時間語った会社説明会。代表やスタッフと気軽に立ち話できる交流会もあり「福祉に対するイメージが変わった」などの声が寄せられました。

OB・OGセキラトーク「福祉のから騒ぎナイト!」

2014年7月9日(水)

参加者数:22名/UST視聴者数合計:132人



福祉団体ではたらく若手スタッフが、福祉業界に入った経緯から職場での出来事まで、TV番組風にホンネを語ったトークセッション。「大変なことがあっても笑って話せるみなさんに、今までになかったワクワク感を感じた」との声にあるように、和やかな雰囲気、福祉ではたらくリアルをお伝えしました。

自分シートづくりワークショップ

2014年7月18日(金)

参加者数:8名

UST配信なし

福祉ではたらくきたいと思う方向けに、就職活動に役立つワークショップを開催。自分の持つ純粋な意欲、長所や短所、福祉にまつわる自分の物語などについて、対話やオリジナルのワークシートづくりを通して、言葉にしていきました。



TOPICS

- ・福祉業界では、採用活動において自社の広報に資源(とりわけ人や金)を投入できていない法人がほとんど。今回取材を受けて求人記事を仕立てた結果、注目度が高まったり、他地域からの求人応募が生まれました。
- ・社会起業家たちが手がけた、若者向けのユニークな福祉就職フェアとしてメディアの注目を浴び、共同通信社、新聞11紙などに取り上げられました。

湯浅誠×家入一真 トークセッション

2014年7月4日(金)

参加者数:32名/UST視聴者数合計:363人



ゲストも参加者も「福祉」のイメージをそれぞれに紙に書いて掲げ、セッションが開始。社会活動家の湯浅氏は「クリエイティブ」、活動家の家入氏は「これからの居場所づくり」と表現し、今後の福祉のありようや可能性へと話が展開。参加者からは「遠いと思っていた福祉がぐっと近づいた」との声も。

THE FUKUSHI 就活SHOW!!

2014年7月24日(木)

参加者数:39名/UST視聴者数合計:67人



ポップコーンとコーラ付き、映画鑑賞スタイルでの会社説明会。各団体20分の持ち時間でビデオを上映したり、起業してからの物語を語ったり。笑いあり涙ありの2時間を終え、参加者から「自分がいかに固定概念にとらわれているかを実感」との声が寄せられるなど、「最先端」の福祉の深い魅力を伝えられました。

地域プロデューサーのネットワークづくり

開催目的

全国で福祉人材の課題に取り組む仲間が一堂に集い、FACE to FUKUSHIのビジョンを共有します。また、地域間の情報共有や戦略立案の機会とします。

2014年度開催実績

2015年3月15日(日)～16日(月)(会場:大阪府大阪市 ロッジ舞洲)
参加者数:16名(北海道、関東、北陸、関西、九州、沖縄から参加)



研修会の企画・運営

開催目的

「新卒採用に悩んでいる」「若手が離職してしまう」など、若手人材の採用・育成に危機感をお持ちの事業所、社会福祉協議会などに対して研修会の企画・運営を行います。

2014年度開催実績

2015年3月6日(金)和歌山社会福祉協議会研修主催「若手人材の育成及び採用セミナー」
参加者数:約20名



2014年度活動の総括と 2015年度への展望

2009年から始まったFACE to FUKUSHIの活動も6年目を迎え、2014年度は新たなチャレンジをしました。FACE to FUKUSHIの組織体制の変革、法人名称の改称、福祉の就職フェアの開催、大学生ツアーの開催。2014年度は、新たな5年のスタートを切りました。
福祉人材不足が深刻になっている昨今、我々の活動の中心も福祉従事者へのサポートから福祉人材確保のサポートへ転換しました。
初めて「就職フェア」という福祉ではたらく入口の支援に取り組み、見えてきた福祉人材の課題に2015年度は果敢にチャレンジしていきます。



FUKUSHIではたらく「入口」の変革 ～多様な新卒人材を全国へ～

① 学生の変革

・潜在福祉人材へのアプローチ

学生の半数以上が一般企業へ就職してしまっている福祉系大学も存在しています。「福祉の採用時期が遅い」「働きたいと思える福祉法人に出会えなかった」そんな理由で、就職活動の過程で、一般企業への就職を余儀なくされた学生がいます。
福祉で就職したい学生が、福祉で就職できるように就職フェアをデザインしていきます。

・マネジメント人材へのアプローチ

福祉業界では、就職を希望する若者は現場支援者に偏っている傾向があります。
この業界が大きくなっていくには、現場支援者だけではなく、組織経営をしていくマネジメント人材が不可欠です。
組織の中核となっていく「マネジメント人材」が福祉でチャレンジできる環境を整えて行きます。

② 福祉法人の変革

・情報発信力の強化

「WEBサイトを持っていない」「パンフレットがない」。そんな法人が福祉業界では、当たり前存在しています。
人材が来ないのは、福祉法人の発信の仕方に課題がある場合が多いです。
人材確保の第一歩は、情報を届けたい人にいかに届けるかです。
福祉法人の情報発信力を高め、福祉の仕事の魅力を発信していきます。

・新卒採用力の強化

大手就職支援サイトに新卒求人を出している福祉法人は、ほんの一握りです。
組織を大きくしていくには、新卒人材を入れて、育成していくことが不可欠であると考えています。
採用の中でも特に新卒採用に力を入れ、採用選考の過程や時期を見直し、新卒採用力を強化していきます。

この変革を特に地方で進め、
全国各地に多様な新卒人材を送り込みます。



2014年度 メディア掲載実績

■ 日本“最先端”の就職フェアとして
FUKUSHIビッグバンの様子を紹介いただきました。

共同通信社

7月 2日 朝日新聞朝刊
7月12日 神戸新聞夕刊
7月12日 山陽新聞夕刊
7月13日 神戸新聞夕刊
7月15日 徳島新聞夕刊
7月15日 高知新聞朝刊
7月17日 佐賀新聞
7月17日 フジサンケイ
ビジネスi
7月18日 岐阜新聞夕刊
7月30日 沖縄タイムス
ほか(以上すべて2014年)



(神戸新聞)

■ 若手福祉人材の採用・育成支援をする、
FACE to FUKUSHIの活動を紹介いただきました。

2015年2月19日発売 コトノネ Vol.13「新しいフクシの風」
2015年1月31日発行 ソーシャルワーク研究40巻4号
(相川書房)「ソーシャルワーク最前線」



(コトノネ Vol.13)